

《3階展示コーナー》

平成26年
4月19日(土)
～5月18日(日)



どく しょ しゅう かん
こどもの読書週間

2011～2013年に刊行された児童書の中から、長く読み継がれてきたシリーズの続編、著名な作家の掘り起こし本や復刊本を集めて、リストにしました。

懐かしい思い出の作品を、親子で楽しんでみませんか。

請求記号	書名	著者名	出版社	ひとこと
E/ウイ/ K949/リン/	ぼくもおにいちゃんになりたいな (2011) 長くつ下のピッピ (1980)	アストリッド・リンドグレーン／文 イロン・ヴィークランド／絵	徳間書店 岩波書店	スウェーデンの作家リンドグレーンが「兄妹」をテーマに書いた絵本。ぜひ、続編の「わたしもがっこうにいきたいな」(2013)とあわせてお読みください。
E/グレ/	はるがきた (2011) どろんこハリー (1964)	ジーン・ジオン／文 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵	主婦の友社 福音館書店	長い間未翻訳だった「ハリー」シリーズの作家コンビの絵本。春を待ちきれない子どもたちのユニークな発想が楽しい絵本です。青と黄色と緑の鮮やかさに目を奪われます。
E/ウエ/	あめあめふれふれねずみくん (2013) ねずみくんのチョッキ (1978)	なかえ よしを／作 上野 紀子／絵	ポプラ社	ねずみくんの絵本シリーズ30冊目。親から子へと読み継がれていく、読み聞かせにもぴったりのシリーズです。表情豊かなねずみくんに注目しながら読んでみてください。
E/シュ/ K943/エン/	はだかのサイ (2013) モモ (1976) 時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語	ミヒヤエル・エンデ／作 ヨッヘン・シュトゥアーアマン／絵 ミヒヤエル・エンデ／作	フレーベル館 岩波書店	「はてしない物語」のミヒヤエル・エンデの絵本。1988年に岩波書店からも出版されています。過去に読んだ方もぜひ、新しい翻訳と挿画でお楽しみください。
E/カコ/	からすのおかしやさん (2013) からすのパンやさん (1973)	かこ さとし／作・絵 加古 里子／絵と文	偕成社	2013年は「からすのパンやさん」シリーズが4冊刊行されました。「やおや」「そばや」「てんぷらや」のお話があります。「どろぼうがっこう」シリーズの新刊も2冊刊行されました。
E/ホラ/	ありがとう、チュウ先生 わたしが絵かきになったわけ (2013) ありがとう、フォルカーせんせい (2001)	パトリア・ポラッコ／作	岩崎書店	「ありがとう、フォルカーせんせい」に続く、パトリア・ポラッコの自伝的絵本。ポラッコの作品では「彼の手は語りつく」もおすすめです。
K933/ジヨ/	チャーメインと魔法の家 (2013) 魔法使いハウルと火の悪魔 (1997)	ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作	徳間書店	「ハウルの動く城」シリーズ3作目。完結巻となります。1作目は2004年にスタジオジブリでアニメ映画化されました。映画を観た方、原作も読まれてはいかがでしょうか。
E/ウン/	どこへいったの？ぼくのくつ (2013) すてきな三にんぐみ (1969)	トミー・ウンゲラー／作	長崎出版 偕成社	ウンゲラーの探しもの絵本です。1987年刊の五味太郎訳の本も閉架にあります。この本と同じ系統で「どこにいるの？かたつむり」もあります。

請求記号	書名	著者名	出版社	ひとこと
E//	ぼくらはいつもいっしょだよ (2013)	サム・マクブラットニィ／さく	評論社	「どんなにきみがすきだかあててごらん」シリーズ。最新作の他に、はる・なつ・あき・ふゆの季節のお話もあります。読むと心があたたくなる、優しい絵本です。
E/ジエ/	どんなにきみがすきだかあててごらん (1995)	サム・マクブラットニィ／ぶん アニタ・ジェラーム／え		
E/キモ/	うずらちゃんのたからもの うずらちゃんのかくれんぼ (1994)	きもと ももこ／さく	福音館書店	「うずらちゃんのかくれんぼ」の続編です。同じく福音館書店から出ている「ピーのおはなし」にも、こっそりうずらちゃんとひよこちゃんが登場しています。
E/アベ/	だれもしらないヒーロー (2013) あらしのよるに (1994)	きむら ゆういち／作 あべ 弘士／絵	講談社	「あらしのよるにスペシャル」として、2011年から4冊刊行されている絵本です。ガブとメイの子どもの頃のお話もあります。シリーズを読み終えた方、ぜひこちらもお読みください。
E/テイ/	ひみつの川 (2013)	マージョリー・キナン・ローリングズ／文 レオ・ディロン・ダイアン・ディロン／絵	BL出版	「子鹿物語」のローリングズが子ども向けに書いた唯一の作品。コールドコット賞受賞画家、ディロン夫妻による美しい絵も楽しめる、大人にもおすすめの絵本です。
K908//30	子鹿物語 (1973)	ローリングズ／原作	岩崎書店	
K913/サイ/	ルドルフとスノーホワイト (2012) ルドルフとイッパイアッテナ (1987)	斉藤 洋／作 杉浦 範茂／絵	講談社	「ルドルフとイッパイアッテナ」シリーズ。前作から10年ぶりの新作です。猫のルドルフが書いた物語もこれで4作目となりました。あとがきも面白いので、忘れずお読みください。
E/ワイ/	きかんしゃがとおるよ (2012) たいせつなこと (2001)	ゴールデン・マクドナルド／さく レナード・ワイスガード／え マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく レナード・ワイスガード／え	長崎出版 フレーベル館	「たいせつなこと」の作者マーガレット・ワイズ・ブラウンが別ペンネームで書いた作品。2012年には「こわがらなくていいんだよ」も刊行されました。
K949/ヨソ/	ビッケのとおき大作戦 (2012) 小さなバイキング (1967)	ルーネル・ヨンソン／作	評論社 学習研究社	「バイキングビッケ」シリーズ。今回の再刊にあたり、未翻訳となっていた最終6巻がついに翻訳されました。多くの人が待ち望んだビッケの冒険の結末をぜひごらんください。
K913/モイ/	つるばら村の魔法のパン (2012) つるばら村のパン屋さん (1998)	茂市 久美子／作 中村 悦子／絵	講談社	「つるばら村」シリーズがついに完結しました。シリーズ全10作です。つるばら村は作者の故郷である、岩手県宮古市(新里村)茂市が舞台となっているそうです。
K943/プロ/	かかしのトーマス (2012) 大どろぼうホッツェンプロッツ (1966)	オトフリート・プロイスラー／作	さ・え・ら書房 偕成社	ドイツの作家プロイスラーの作品。原著では「フォーゲルシュレック」とされていた名字を「トリビッキリ」と訳したセンスが素敵です。農家の人びとの暮らしもよくわかる物語です。
E/フリ/	よろしくともだち (2012) ともだちや (1998)	内田 麟太郎／作 降矢 なな／絵	偕成社	「おれたち、ともだち！」シリーズ11作目。オオカミさんとキツネを中心に森の仲間たちがともだちになるお話です。読み終わった後「よかったね」と言いたくなる、そんな作品です。

※()の中は出版年になります。
当館が所蔵している資料の中でもっとも古い出版年を記載しています。